



## 2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月7日

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション 上場取引所 東 名  
 コード番号 2734 URL https://www.sala.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO (氏名) 神野 吾郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 武川 裕樹 TEL 0532-51-1182  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月9日 配当支払開始予定日 2021年7月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2021年11月期第2四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	113,816	2.8	6,307	12.8	6,941	△0.1	4,765	2.9
2020年11月期第2四半期	110,762	3.4	5,593	15.8	6,949	21.5	4,632	18.9

(注) 包括利益 2021年11月期第2四半期 5,009百万円 (10.5%) 2020年11月期第2四半期 4,532百万円 (24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	75.51	—
2020年11月期第2四半期	74.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	187,539	66,345	34.6
2020年11月期	188,011	61,708	32.1

(参考) 自己資本 2021年11月期第2四半期 64,953百万円 2020年11月期 60,427百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年11月期	—	10.00	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2021年7月7日）公表いたしました「第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	3.9	6,500	9.4	7,000	△4.9	4,500	28.8	71.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2021年7月7日）公表いたしました「第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	66,041,147株	2020年11月期	66,041,147株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	2,734,381株	2020年11月期	3,162,441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	63,104,849株	2020年11月期2Q	62,335,175株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き国内外の経済活動が抑制されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループ(以下、「サラーグループ」といいます。)におきましては、2020年11月期を初年度とする第4次中期経営計画における重点課題「暮らしのSALAの新展開」「SALAの浸透」「変革とチャレンジ」への取組みに注力しました。2年目となる当期はコロナ禍のなか、初年度に描いた目標に向かって積極的に各施策に取り組んでいます。当第2四半期連結累計期間におきましては、サラーエナジー株式会社は、法人向け太陽光発電システム第三者所有モデル「サラーのゼロソーラーサービス」事業を開始しました。本事業は、同社が発電事業者として自家消費型太陽光発電設備等の所有、維持管理等を行い、当該設備等で発電された電力をお客さまに供給するものです。また、サラーグループのITシステムを統括する株式会社サラービジネスソリューションズは、暮らしのSALA実現に向けて、2021年2月にマーケティング・プラットフォーム事業の株式会社サラーライフスタイルイノベーションを統合し、グループ一体となったIT・デジタル戦略を企画、展開する体制を整えました。新たな取組みの一つとして、2021年5月にサラーの暮らしサービスを一元的に分かりやすく提示するとともに、各種お問い合わせ手続きができるスマートフォン用アプリ「サラーのアプリ」をリリースしました。さらに、サラーグループが参画する豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業は、2021年7月1日に「emCAMPUS(エムキャンパス)EAST」の竣工式を執り行いました。2021年11月の開業に向けて、同施設1階の食の発信拠点、並びに同5階の学びや新たなビジネスを創造する拠点の運営準備に取り組んでいます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、エンジニアリング&メンテナンス事業は取引先企業の設備投資の抑制、延期により受注高が減少しました。プロパティ事業はホテルやレストランの利用客数の減少が続く業績が落ち込みました。その他の事業におきましても、ショールームの来店客数等に影響が生じました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高はエネルギー&ソリューションズ事業及びエンジニアリング&メンテナンス事業は減収となりましたが、その他の事業が増収となったことから前年同期比2.8%増の113,816百万円となりました。利益面はエネルギー&ソリューションズ事業における増益に加え、ハウジング事業及びカーライフサポート事業が営業損失を解消したことから、営業利益は前年同期比12.8%増の6,307百万円となりました。一方、経常利益は為替予約に係るデリバティブ評価益が縮小したため6,941百万円と前年同期比0.1%減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等費用の減少により前年同期比2.9%増の4,765百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### エネルギー&ソリューションズ事業

売上高52,287百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益4,139百万円(前年同期比7.2%増)

取引先工場の稼働率が前年同期に比べ堅調に推移したことから、都市ガス、LPガスともに工業用のガス販売量が増加しました。一方、原料費調整制度に基づき都市ガス販売価格を下方調整したため、売上高は減少しました。利益面は、都市ガスの売上総利益が増加したことから営業利益は増加しました。

#### エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高17,383百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益1,736百万円(前年同期比10.9%減)

設備工事及びメンテナンス部門における完成工事は減少しましたが、建築及び土木部門の完成工事高が増加しました。また、各部門において工程管理を徹底し売上原価の低減に努めたことにより、売上高、営業利益ともに減少したものの引き続き高い水準を維持しました。

#### ハウジング事業

売上高17,406百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益83百万円(前年同期は営業損失284百万円)

住宅販売部門は注文住宅、分譲住宅ともに販売棟数が増加しました。住宅部資材加工・販売部門は、既存取引先の事業エリア拡大に合わせて取引拡大に努めたことにより受注が増加しました。以上により売上高、営業利益ともに増加しました。

#### カーライフサポート事業

売上高7,315百万円(前年同期比24.1%増)、営業利益86百万円(前年同期は営業損失174百万円)

新型コロナウイルス感染症の影響によりショールームへの来店客数が減少したため、フォルクスワーゲンの新車販売台数は減少しました。一方、フォルクスワーゲン、アウディともに中古車の販売台数は大幅に増加しました。以上により売上高、営業利益ともに増加しました。

アニマルヘルスケア事業

売上高15,704百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益531百万円（前年同期比6.2%増）

畜産部門、ペット関連部門ともに新商品及び重点取組み商品の拡販に努めました。また、コンサルティング営業の強化に継続して取り組んだことにより動物用医薬品の販売は堅調に推移しました。以上により売上高、営業利益ともに増加しました。

プロパティ事業

売上高1,883百万円（前年同期比0.4%増）、営業損失250百万円（前年同期は営業損失232百万円）

不動産仲介部門は大型物件が減少したため手数料収入が減少しましたが、不動産売買部門は堅調に推移したことから売上高は前年同期並みとなりました。利益面は、ホスピタリティ部門において新型コロナウイルス感染症の影響により宴会やブライダル、レストランなどの利用客数の減少が続いたため営業損失を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

資産は187,539百万円と、前連結会計年度末と比較して472百万円減少しました。これは主に、「商品及び製品」が1,386百万円減少したこと、「有形固定資産」が1,378百万円減少したこと、「繰延税金資産」が652百万円減少したことに対し、「仕掛品」が2,748百万円増加したこと、「現金及び預金」が358百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は121,193百万円と、前連結会計年度末と比較して5,108百万円減少しました。これは主に、流動負債の「その他」が2,906百万円減少したこと、「長期借入金（1年内返済予定を含む）」が2,577百万円減少したこと、「賞与引当金」が1,117百万円減少したことに対し、「電子記録債務」が884百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は66,345百万円と、前連結会計年度末と比較して4,636百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が4,104百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により4,765百万円増加、配当の実施により660百万円減少）したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動による資金の増加4,643百万円、投資活動による資金の減少2,133百万円、財務活動による資金の減少2,303百万円となり、あわせて206百万円増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の資金は21,805百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4,643百万円（前年同四半期は3,393百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」6,928百万円、「減価償却費」3,370百万円、「仕入債務の増加額」849百万円などの増加要因と、「たな卸資産の増加額」1,559百万円、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」1,475百万円、「法人税等の支払額」1,346百万円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,133百万円（前年同四半期は3,447百万円の資金の使用）となりました。これは主に、「有形固定資産の取得による支出」2,433百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,303百万円（前年同四半期は2,009百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、「長期借入金の返済による支出」4,157百万円、「配当金の支払額」660百万円などの減少要因と、「長期借入れによる収入」1,600百万円、「短期借入金の純増額」732百万円などの増加要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月13日に公表しました通期の連結業績予想につきましては、営業利益は6,000百万円から6,500百万円、経常利益は6,500百万円から7,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,300百万円から4,500百万円にそれぞれ修正をしております。なお、通期の連結業績予想には為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響は織り込んでいません。

詳細につきましては、本日(2021年7月7日)公表の「第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,169	22,528
受取手形及び売掛金	23,115	22,486
電子記録債権	1,329	1,584
商品及び製品	14,232	12,845
仕掛品	13,716	16,464
原材料及び貯蔵品	271	337
その他	5,333	5,596
貸倒引当金	△226	△197
流動資産合計	79,940	81,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,085	19,607
機械装置及び運搬具（純額）	9,318	9,077
導管（純額）	18,256	17,509
土地	34,096	34,019
建設仮勘定	1,329	1,445
その他（純額）	1,319	1,366
有形固定資産合計	84,404	83,026
無形固定資産		
のれん	413	357
その他	1,213	1,090
無形固定資産合計	1,627	1,447
投資その他の資産		
投資有価証券	7,725	7,955
長期貸付金	4,649	4,306
繰延税金資産	5,287	4,634
その他	4,809	4,958
貸倒引当金	△433	△436
投資その他の資産合計	22,038	21,419
固定資産合計	108,070	105,892
資産合計	188,011	187,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,855	20,790
電子記録債務	3,416	4,301
短期借入金	9,363	10,095
1年内返済予定の長期借入金	7,860	9,049
未払法人税等	1,148	1,237
賞与引当金	2,403	1,285
役員賞与引当金	5	2
完成工事補償引当金	55	56
工事損失引当金	137	89
ポイント引当金	278	279
修繕引当金	1	1
その他	16,437	13,530
流動負債合計	61,964	60,719
固定負債		
長期借入金	47,536	43,769
繰延税金負債	74	111
役員退職慰労引当金	209	190
株式報酬引当金	332	346
修繕引当金	110	120
債務保証損失引当金	193	193
退職給付に係る負債	12,420	12,424
その他	3,461	3,317
固定負債合計	64,338	60,473
負債合計	126,302	121,193
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,169	25,179
利益剰余金	29,423	33,528
自己株式	△2,126	△1,826
株主資本合計	60,490	64,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	837
繰延ヘッジ損益	23	121
退職給付に係る調整累計額	△812	△911
その他の包括利益累計額合計	△63	47
非支配株主持分	1,281	1,391
純資産合計	61,708	66,345
負債純資産合計	188,011	187,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	110,762	113,816
売上原価	79,720	81,591
売上総利益	31,041	32,224
販売費及び一般管理費	25,447	25,917
営業利益	5,593	6,307
営業外収益		
受取利息	53	46
受取配当金	65	33
デリバティブ評価益	1,056	178
持分法による投資利益	100	123
その他	250	385
営業外収益合計	1,525	766
営業外費用		
支払利息	84	80
その他	85	52
営業外費用合計	169	132
経常利益	6,949	6,941
特別利益		
固定資産売却益	19	43
投資有価証券売却益	164	24
特別利益合計	183	67
特別損失		
固定資産除売却損	49	36
減損損失	—	43
臨時損失	45	—
特別損失合計	94	80
税金等調整前四半期純利益	7,038	6,928
法人税、住民税及び事業税	1,736	1,444
法人税等調整額	563	586
法人税等合計	2,300	2,031
四半期純利益	4,737	4,896
非支配株主に帰属する四半期純利益	105	131
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,632	4,765

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	4,737	4,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△387	112
繰延ヘッジ損益	22	97
退職給付に係る調整額	159	△97
その他の包括利益合計	△205	112
四半期包括利益	4,532	5,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,427	4,876
非支配株主に係る四半期包括利益	104	133

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,038	6,928
減価償却費	3,537	3,370
減損損失	—	43
のれん償却額	94	81
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,159	△1,117
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△2
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△5	0
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△48
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4	0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△19
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	15	14
修繕引当金の増減額(△は減少)	10	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△215	△193
受取利息及び受取配当金	△118	△79
支払利息	85	81
持分法による投資損益(△は益)	△100	△123
デリバティブ評価損益(△は益)	△1,056	△178
固定資産除売却損益(△は益)	△11	△23
投資有価証券売却損益(△は益)	△164	△24
売上債権の増減額(△は増加)	5,356	△421
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,085	△1,559
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,393	849
長期未払金の増減額(△は減少)	△372	△75
その他	1,799	△1,475
小計	5,251	6,011
利息及び配当金の受取額	117	78
利息の支払額	△126	△100
法人税等の支払額	△1,848	△1,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,393	4,643

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,783	△2,433
有形固定資産の売却による収入	40	87
無形固定資産の取得による支出	△244	△62
投資有価証券の取得による支出	△174	△71
投資有価証券の売却による収入	447	165
貸付けによる支出	△40	△51
貸付金の回収による収入	296	409
その他	10	△175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,447	△2,133
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△636	732
長期借入れによる収入	9,800	1,600
長期借入金の返済による支出	△6,608	△4,157
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	283	300
配当金の支払額	△722	△660
非支配株主への配当金の支払額	△7	△7
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△6
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△98	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,009	△2,303
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,955	206
現金及び現金同等物の期首残高	21,788	21,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,744	21,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー&ソリューションズ事業	エンジニアリング&メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフサポート事業	アニマルヘルスケア事業
売上高					
外部顧客への売上高	52,838	17,803	15,390	5,896	15,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,015	2,705	5	8	—
計	53,853	20,509	15,396	5,905	15,302
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,859	1,948	△284	△174	500

	報告セグメント		その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,874	109,106	1,655	110,762	—	110,762
セグメント間の内部売上高又は振替高	271	4,006	729	4,735	△4,735	—
計	2,146	113,113	2,384	115,498	△4,735	110,762
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△232	5,617	46	5,663	△69	5,593

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△69百万円には、セグメント間取引取消去567百万円、全社費用△637百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
外部顧客への売上高	52,287	17,383	17,406	7,315	15,704
セグメント間の内部売上高又は 振替高	872	2,037	66	5	8
計	53,159	19,420	17,472	7,320	15,713
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	4,139	1,736	83	86	531

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,883	111,979	1,836	113,816	—	113,816
セグメント間の内部売上高又は 振替高	236	3,226	652	3,878	△3,878	—
計	2,119	115,205	2,489	117,694	△3,878	113,816
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	△250	6,326	91	6,418	△110	6,307

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△110百万円には、セグメント間取引消去570百万円、全社費用△681百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

アニマルヘルスケア事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては43百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。